

令和5年度事業報告書

公益財団法人 豊田加茂環境整備公社

I 総 括

令和5年度は、公益財団法人として法令等に定められた公益認定基準に適合し、健全で透明性の高いガバナンスによる法人運営を着実に実施しました。そして、持続可能な開発目標（SDGs）やカーボンニュートラルの実現に向けた取組みとして、「とよた・ゼロカーボンアクション」の趣旨に対応した行動を加速させるとともに、長期的な経営戦略ビジョンに基づき、将来にわたる安全安心な経営の一層の安定化を図るため、浸出水処理施設更新の実施設計を中心に事業を進めました。

浸出水処理施設更新の実施設計は、処理フロー及び設備・機械等の施設レイアウト等を確認後、新設する浸出水処理施設の設計図を作成し、概算事業費の算出を行いました。また、建設予定地の既存施設の解体設計についても検討を行いました。なお、施設建設にかかる関係法令の行政手続きに向けての準備は完了しております。

総合経営管理計画の推進としては、昨今の物価上昇による調達コストの上昇を踏まえ、廃棄物処分料金の見直しの検討に着手し、全国の公共関与処分場の処分料金の調査等を行いました。

廃棄物の品質管理については、搬入事業者が行う検査結果の提出を求め、搬入事業者自身の品質管理を促し、その一方で廃棄物搬入時に行う公社の抜取検査については、搬入事業者から提出を受けた検査結果を確認し、受入基準値超過のおそれのある事業者及び多量搬入事業者の複数回の検査実施等を重点的に取り組み、一層の品質管理を推進しました。

廃棄物の埋め立てについては、令和16年度埋立完了に向けて、廃棄物の計画的な受入を行うとともに埋立残余容量の管理を確実にいき、中長期的な視点での重要実施事項（貯留堰堤構築、埋立工区切替、雨水排除、仮置き土砂の移動等）を整理し、埋立工程表の検討を行いました。今後も引き続き、安全安心な最終処分場の適正な運営を継続し、社会的基盤施設としての機能・役割を果たしてまいります。

そして地域対応は、令和5年8月、12月及び令和6年3月に「御船産業廃棄物処分場連絡協議会」を開催し、水質等の環境モニタリング結果及び経営状況報告を行い、一層の信頼関係の構築に努めました。

今後とも「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に規定する「公益目的事業の適正な実施による公益の増進」を図るべく、廃棄物の適正処理により、生活環境の保全及び産業の健全な発展に貢献してまいります。

II 事 業

1 廃棄物の最終処分事業

(1) 廃棄物の適正処理に関する情報公開及び啓発活動の推進

①情報公開の推進

- ・公社事業概要及び処分場の維持管理記録等の情報公開を行い、優良産廃処理業者認定制度に基づく優良事業者としての認定を継続。
- ・リニューアルしたホームページでは受入停止中等の緊急情報を発信。

②啓発活動の推進

- ・豊田スタジアムで開催された「とよた産業フェスタ」に出展し、廃棄物のサンプル展示やパネル展示方法の改善を図り、PR活動を実施。

(2) 地域環境整備への貢献

①環境美化活動の推進

- ・令和5年5月30日及び9月7日に全職員で処分場周辺道路の環境美化を実施。
- ・御船川の草刈りを春（5月24日～26日）及び秋（9月4日～5日）に実施。
- ・地域の緑化及び清掃美化等の推進に協力するため、御船町自治区に花苗購入費用等を助成。

(3) 適正な最終処分場運営管理の推進

① 廃棄物品質管理の徹底

- ・令和5年6月～8月、搬入事業者より廃棄物溶出検査結果の提出を受け、基準適合を確認。
- ・令和5年11月～令和6年3月、公社抜取検査を実施し、基準適合を確認。
- ・公社抜取検査実施にあたっては、搬入事業者から提出を受けた検査結果を確認し、受入基準値超過のおそれのある事業者及び多量搬入事業者の複数回の検査実施等を重点的に取組み、検査結果は、全てフィードバックし注意喚起を促す等、一層の品質管理の徹底を推進。

② 浸出水処理施設の長寿命化のための計画的な保全の継続

- ・令和5年4月、流量調整槽ひび割れ及び防食塗装補修工事を実施。
- ・令和5年8月～10月、活性炭移送ポンプ等ポンプ6台修繕工事を実施。

③ 安全かつ効率的で計画的な埋立の実施

- ・埋立委託業者とミーティングを重ね、次期埋立工区の容量、埋立工程等を協議し、次年度埋立計画を作成。
- ・貯留堰堤構築までの埋立工程表の項目の洗い出し、課題点の抽出等を行い、中長期の埋立工程表の検討を実施。

(4) 中長期的経営活動

① 総合経営管理計画の推進

- ・総合経営管理計画の全体進捗管理。
- ・廃棄物処分料金の見直しのため、全国の公共関与処分場の廃棄物処分料金の調査を実施。

② 浸出水処理施設更新の検討

- ・令和5年4月～令和6年3月、処分場建設時のコンサルタント、浸出水処理施設のプラントメーカーの専門家を入れた検討プロジェクトチーム会議を13回開催。
- ・処理フロー及び設備・機械等の施設レイアウト等を確認後、新設する浸出水処理施設の設計図を作成し、概算事業費の算出。建設予定地の既存施設の解体設計についても検討を実施。
- ・施設建設に係る開発申請、建築関係申請、汚泥脱水機の設置許可申請の行政手続きの準備完了。
- ・公共関与処分場浸出水処理施設増強・更新状況の現地調査実施。

(5) 地域環境保全の推進

① 環境モニタリングによる継続監視

- ・環境・水質調査を定期的に行い、その結果を地元地域、関係機関に報告。結果は異常なし。

2 循環型社会推進事業

(1) 豊田市緑のリサイクルセンター受託事業

① 計量受付及び販売管理の充実

- ・令和5年4月、刈草・せん定枝処分手数料改定への適切な対応。
- ・令和5年9月～10月、インボイスに対する対応手順書等整備。
- ・令和6年3月、計量受付手順書、販売管理手順書の体系的整備。

Ⅲ 運 営

1 理事会（開催場所：豊田加茂環境整備公社会議室）

回数	開催年月日	議 案	審議結果
第 29 回	R 5 . 5 . 2 3	(1) 令和 4 年度事業報告及び附属明細書の承認について (2) 令和 4 年度決算の承認について (3) 評議員候補者の決定について (4) 理事の任期満了に伴う改選の次期理事候補者の決定について (5) 定時評議員会の招集及び提出議案について	可 決 可 決 可 決 可 決 可 決
第 30 回	R 5 . 6 . 2 1	(1) 理事長及び専務理事の選定について	可 決
第 31 回	R 6 . 3 . 1 5	(1) 令和 6 年度事業計画(案)及び収支予算(案)等の承認について (2) 施設増強準備資金への積立の承認について	可 決 可 決

2 評議員会（開催場所：豊田加茂環境整備公社会議室）

回数	開催年月日	議 案	審議結果
第 11 回	R 5 . 6 . 2 1	(1) 令和 4 年度事業報告及び附属明細書の承認について (2) 令和 4 年度決算の承認について (3) 評議員の選任について (4) 理事の任期満了に伴う選任について	可 決 可 決 可 決 可 決

Ⅳ 附属明細書

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 3 4 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。